

『任せて楽ちん、任せてワクワクの **お任せ見立てワクワク宅配便**』  
 なぜ？そこにお顔が無いのに選べるのか、なぜ？それをあるようにしたのか。  
 そして、メガネをお選びする本当の意味は何なのでしょう？

それは20数年前に遡ります。レンズの度の強い方ですと鏡でメガネを選びにくいことがあります。その助けにとポラロイドカメラを用意しました。でも写真のサイズも小さく見やすくありませんでした。

より良い手段を探すうちに「**静止画記録装置**」に出会いました。まだデジカメが無い時代です。本体は百科事典くらいの大きさで、記録媒体は小型フロッピーディスクでした。それに虎屋の羊羹くらいの大きさのカメラとディスプレイ代わりにテレビを繋ぎ、その場で撮影した画像を見ました。(一式40万円くらいでした)

メガネ選び  
 システム！恩人  
 「お似合い君」



目とまゆの間を  
 うめて、目を際立た  
 せます。



目じりタメりに赤で  
 ポイントを作って  
 顔のバランスを  
 引き上げます♪



画質は今一つでしたが、お一人当たり20枚ほど撮りそのお顔画像を即座に次々と見ることができるようになったのは画期的でした。

**それを毎日のようにするので、今まで膨大な数のお顔を見てきたことになります。**

それを始めた初期は「アレよりコレの方が似合うな」という比較で判断する程度。もう少し経つと、メガネによって、(例えば)お顔が長くなったり、ふっくら見えたりという変化に着目するようになりました。そんな「変化の理由」もだんだん整理され、「だから似合っているのか」と、自分の中で納得感が出てくるようになりました。

それでもなお、得意顔、不得意顔があったり、似合う理由はなんとなく分かるが、お顔を

裏面へ →

